

令和元年度事業の円滑な発注及び 施工体制の確保に向けた具体的対策の概要①

1. 入札・契約に係る取組

◆総合評価落札方式の適切な運用と技術評価点の加算設定等

- ・技術者評価に関する施工経験に係る評価の簡素化、地域防災担い手確保型及び技術提案チャレンジ型の積極的な活用。
- ・令和元年度台風15号により災害において、関東地方整備局の要請に基づいておこなったものについては、災害活動実績として適切に評価。

◆入札参加資格要件の緩和

- ・配置予定技術者の施工経験等を必要に応じて緩和。

◆適切な規模・内容による発注

- ・事業執行の迅速化や効率化の観点から、分任支出負担行為担当官で契約できる範囲を3億9千万円(官庁営繕においては2億6千万円)まで拡大。
- ・中小建設業者等の受注機会の確保を図るため、政府調達協定の対象工事を除く大規模な工事で、工事難易度が低いものは、上位等級工事への参入の拡大を積極的に推進。

◆入札方式等の取扱い

- ・地域の実情や工事の特性を踏まえ、指名競争入札の実施により早期着手等の観点から大きな効果が見込まれる工事等については、指名競争入札方式の実施について検討し活用。
- ・災害復旧工事等の発注において、その工事の特性や緊急性等を考慮し、一括審査方式や指名競争入札を積極的に活用。

令和元年度事業の円滑な発注及び 施工体制の確保に向けた具体的対策の概要②

2. 設計・積算に係る取組

◆試行工事の積極的活用

- ・工事内容、施工性、地域特性等を考慮し、**積算に関する試行工事を積極的に推進**。
- ・都市部における現道規制工事の施工において、間接費等にかかる試行を適切に行う。

◆適切な設計変更

- ・設計変更の対象とする経費や工種等を入札公告時に明示し、**適切に設計変更を行う**。

3. 適切な工期及び余裕期間の設定

◆週休2日制適用工事の推進及び余裕期間の設定

- ・**積極的に週休2日を推進**。
- ・柔軟な工期の設定等を通じて、建設資材や建設労働者などが確保できるよう、余裕期間制度を原則活用。
当分の運用として、余裕期間は、**契約ごとに原則6ヶ月を超えない範囲内で設定**。

◆速やかに翌債申請手続きを進める。

4. 施工段階における取組

◆監理技術者の途中交代に関する運用の徹底

- ・受注者の責によらない理由により工期が延長された場合や、工程上一定の区切りと認められる時点においては、**監理技術者の途中交代を行うようにするなど関連通知に基づき適切な運用**を行う。

◆工事書類(資料検査に必要な書類)の簡素化の取組を参考にして、事務の効率化を図る。

5. 入札不調の際の随意契約の実施

◆入札不調により契約に至らない工事について、**随意契約を行うなど適切かつ積極的に対応**。

迅速な復旧活動の実施のための入札契約方式について

- 迅速性が求められる災害復旧や復興において、随意契約や指名競争方式等の適用の考え方や手続きにあたっての留意点や工夫等をまとめたガイドラインを作成(平成29年7月)。**地方公共団体**に対しても、**ガイドライン**を参考として、**随意契約等を適用するよう通知**するとともに、**地域発注者協議会を通じて内容を周知**。
- 平成30年7月豪雨での災害復旧工事では、**直轄**で、**約230件**(H30.11末時点)の**工事**で**随意契約を活用**。

災害復旧における入札契約方式の適用ガイドライン

■構成

| |
|-------------------------|
| 1. 入札契約方式選定の基本的考え方 |
| 2. 地方公共団体との連携等 |
| 3. 大規模災害における入札契約方式の適用事例 |
| 参考資料：入札契約方式の関係図書 |

■対象とした災害

| 災害名 | 主な被災地 | 日時 |
|--------------|--------|----------|
| 東日本大震災 | 東日本エリア | H23.3.11 |
| 紀伊半島大水害 | 奈良県等 | H23.9.4 |
| 広島豪雨土砂災害 | 広島県等 | H26.8.19 |
| 関東・東北豪雨鬼怒川水害 | 茨城県等 | H27.9.9 |
| 平成28年熊本地震 | 熊本県等 | H28.4.16 |

■入札契約方式の適用の考え方

工事の緊急度や実施する企業の体制等を勘案し、適用する入札契約方式を検討する。

| 工事内容 | 緊急度 | 入札契約方式 | 契約相手の選定方法 |
|-------------|-------|-----------------------|---|
| 応急復旧 本復旧 | 極めて高い | 随意契約 | 下記のような観点から最適な契約相手を選定 ①被災箇所における維持修繕工事の実施実績 ②災害時における協定締結状況 ③施工の確実性(本店等の所在地、企業の被害状況、近隣での施工状況、実績等) |
| 本復旧 | | 指名競争 | 有資格者を対象に、下記のような観点から、指名及び受注の状況を勘案し、特定の者に偏しないように指名を実施 ①本社(本店)、支店、営業所の所在地 ②同種、類似工事の施工実績 ③手持ち工事の状況 |
| 本復旧 | | 通常的方式(一般競争・総合評価落札方式他) | 通常的方式によって迅速な対応が可能な場合 |

平成30年7月豪雨での随意契約の状況

| | 工事 | 業務 |
|---------------|-------|-------|
| 全国 | 約230件 | 約120件 |
| うち岡山県、広島県、愛媛県 | 約140件 | 約30件 |

H30.11.30現在